

みんなで語り、伝えよう！ 芦屋川物語

芦屋川散策マップ

みんなで探そう！

私たちの山の不思議

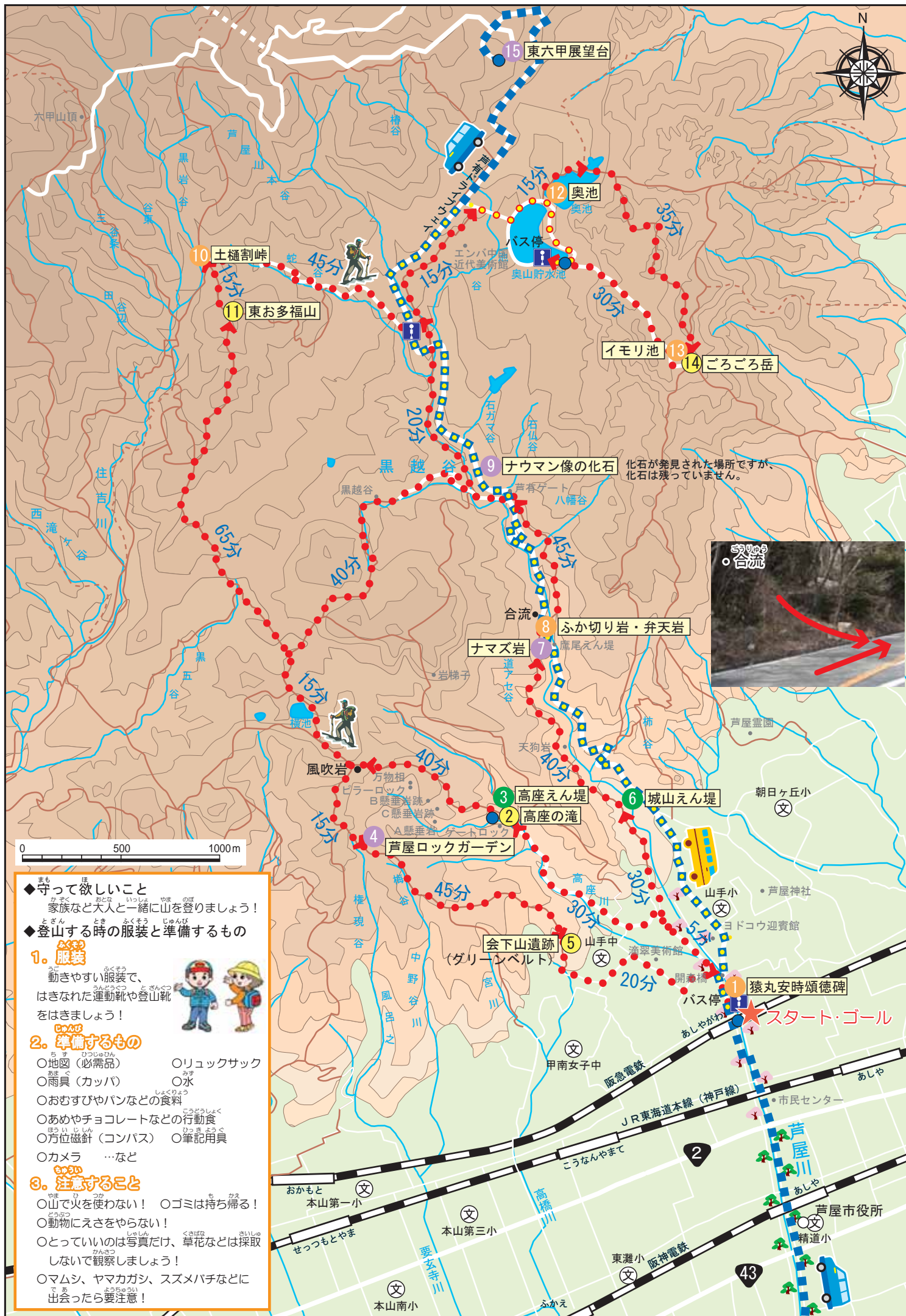
六甲山地の自然を楽しみながら、
六甲山地の不思議に触れ、素晴らしさを
知り、安全について考えてみよう！



散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「芦屋川物語」のモデル散策マップです。裏面で各散策ポイントに関する情報を紹介しています。

より詳しい情報を掲載した冊子や他の散策マップ、散策しながら学習できるサブノートなどの入手先は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



- ◆守って欲しいこと
家族など大人と一緒に山を登りましょう！
- ◆登山する時の服装と準備するもの
- 1. 服装
動きやすい服装で、はきなれた運動靴や登山靴をはきましょう！
- 2. 準備するもの
 - 地図（必需品）
 - リュックサック
 - 雨具（カッパ）
 - 水
 - おむすびやパンなどの食料
 - あめやチョコレートなどの行動食
 - 方位磁針（コンパス）
 - 筆記用具
 - カメラ …など
- 3. 注意すること
 - 山で火を使わない！
 - ゴミは持ち帰る！
 - 動物にえさをやらない！
 - とっていいのは写真だけ、草花などは採取しないで観察しましょう！
 - マムシ、ヤマカガシ、スズメバチなどに会ったら要注意！

マップの見方

- 【見学ポイント】
- 「不思議」に触れる見学ポイント
 - 「素晴らしさ」を知る見学ポイント
 - 「安全」を考える見学ポイント
 - 上記3つの内2つ以上共通する見学ポイント

- 【移動手段】
- 徒歩 (○分：矢印間の移動時間の目安)
 - 徒歩・バス
 - 自動車・バス
 - バス
 - 自動車

- 【その他】
- 駅
 - ⊗ 学校
 - ≡ 鉄道
 - 市役所
 - ! バス停
 - トイレ

散策ポイント



【問合わせ先】
国土交通省 六甲砂防事務所
住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
電話：078-851-0535
ホームページ：http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/

みんなで探そう！私たちの山の不思議

(ポイントの紹介)

○実際に見学した箇所の口印にチェックをしよう！
 ○口印横の数字は「冊子」の関連ページです。

①⑫猿丸安時頌徳碑・奥池 □ 38P

阪急芦屋川駅の北にある開森橋に、「猿丸安時頌徳碑」が建てられています。奥池は、安時が水争いがなくなるように、天保12年(1841年)から約20年の歳月をかけて造ったものです。



猿丸安時頌徳碑 奥池

奥池は、昔の人が造った池なんだよ！

⑤会下山遺跡・グリーンベルト □ 41,89P

会下山遺跡は、高地性集落と呼ばれ、山の上に約2,000年前の竪穴住居などの跡が見つかっています。現地では復元された高床倉庫や住居跡が見られます。また、会下山周辺では、木を植えるなど災害を防ぐための取り組み(六甲山系グリーンベルト整備事業)が進められています。



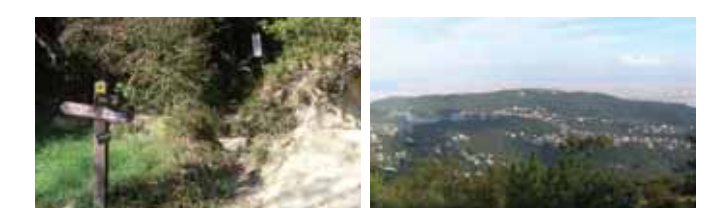
会下山遺跡 山はだの保護・樹木の植栽

会下山遺跡はどうして山の上にあるのかな？

⑩⑪土樋割峠・東お多福山 □ 4,38,39P

土樋割峠の東側に芦屋川が、西側に住吉川が流れています。その昔、水不足に悩んだ芦屋の住民は、この峠に土樋(土管)を通し、住吉川の水を芦屋川の方へ引こうとしたのです。これに怒った住吉の住民が、この土樋を割ったことから土樋割峠と呼ばれています。

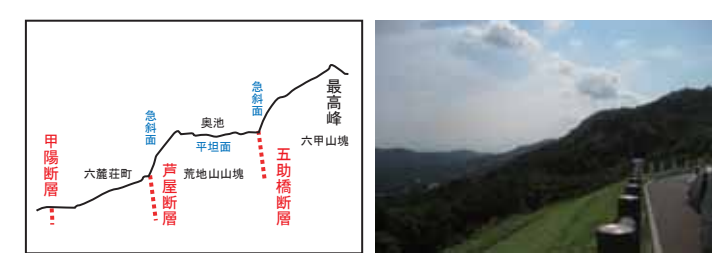
また、東お多福山の名は、笹原の広がる風景がのっぺりとしたオタフク美人に似ていることに由来します。



土樋割峠 東お多福山からの眺め

⑮東六甲展望台 □ 13P

東六甲展望台からは、六甲山地が断層運動を繰り返して、平原が盛り上がりつつあることを物語る急斜面や平坦面を見ることが出来ます。刃物でけずりとられたような急斜面に断層があり、その間に奥池周辺のような平坦面が見られます。



六甲山地の断面イメージ 東六甲展望台からの眺め

②④高座の滝・芦屋ロックガーデン □ 3,17,39P

ロックガーデンは、雨や風の影響で花こう岩の弱い部分が崩れ、硬い部分が残ってできたところです。大正13年(1924年)、藤木九三を中心にロック・クライミングクラブが作られ、岩のぼりの練習が始められました。九三の人物レリーフが、高座の滝の岩に埋め込まれています。



ロックガーデンの様子 藤木九三のレリーフ 高座の滝

ロックガーデンの神秘的な風景は、富田碎花の歌にも詠まれているんだよ！

⑦⑧ナマズ岩・ふか切り岩・弁天岩 □ 20,37P

芦屋川沿いを登っていくと、ナマズ岩と呼ばれる大きな岩があります。この岩は、阪神・淡路大震災時に荒地山から転がり落ちた岩です。また、近くには、江戸時代に行われた雨乞いに関わりのあるふか切り岩や弁天岩も見られます。



ナマズ岩 ふか切り岩 弁天岩

ナマズ岩は、阪神・淡路大震災時に落ちてきたんだよ！

⑬イモリ池 □ 31P

イモリ池では、たいへん珍しい氷期の植物であるサギスゲが見られるなど、豊かな自然が残っています。6月の初めに訪れると池の真ん中あたりに点々とサギスゲの白い花が見られます。まるでたくさんの白いサギが舞い降りたように見えるのでサギスゲと呼ばれています。



イモリ池 イモリ池のサギスゲ

イモリ池には、氷期の植物が残っているんだよ！

③⑥高座えん堤・城山えん堤 □ 79P

土砂災害から私たちの街を守る砂防施設の代表的なもののが砂防えん堤です。昭和13年(1938年)の阪神大水害をきっかけに、国が直接行う六甲山地の砂防事業が始まり、芦屋市においても、城山えん堤や高座えん堤などが整備されました。

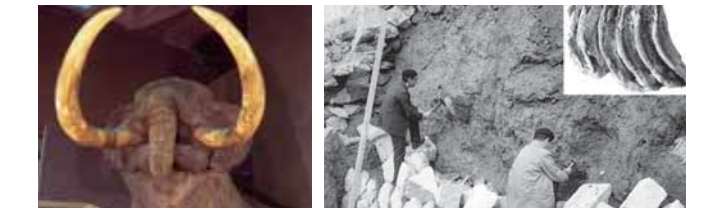


高座えん堤 城山えん堤

砂防えん堤の仕組みって、知ってる？

⑨ナウマン象の化石 □ 16P

昭和36年(1961年)芦有ドライブウェイ沿いに、ナウマン象の下あごの歯の化石が発見されました。ナウマン象は、草食の大型動物で草原地帯に住んでいましたが、海面から高さ約400mもある六甲山地の中腹で化石が発見されました。



復元されたナウマン象 化石が見つかった時の様子

ナウマン象は、いつごろから日本にいたの？

⑭ごろごろ岳 □ 4,65P

奥池の近くに「ごろごろ岳」という変わった名前の山があります。この山には昭和48年(1973年)まで、「剣谷森林気象観測所」があり、「人間灯台」と呼ばれていた。神戸営林所の池野さんが、38年間、六甲山地の雨量や気温などの調査と、山火事の見張りなどを行っていました。



ごろごろ岳山頂 気象観測所跡(昔の様子)

どうして、ごろごろ岳って呼ばれてるか、知ってる？

芦屋の植物

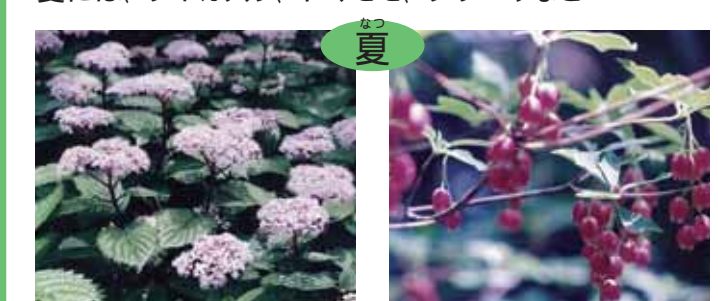
六甲山地では、1年を通じて四季折々の植物が見られます。

・春には、クサイチゴ、ウラシマソウ、マンサクなど



イワカガミ ヤマボウシ

・夏には、サネカズラ、ヤマモモ、ササユリなど



コアジサイ ベニドウダン

・秋には、アケビ、ナンキンナナカマド、アキグミなど



センブリ ホツツジ